

令和5年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立南蒲小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- (低)・授業前・導入にストレッチを行うことで、柔軟性の向上を図った。
 - ・ミニゲームなどを通して力試しの運動を取り入れることで、多様な体の動かし方に気付いている児童が増えた。
- (中)・基本動作を取り入れた活動を、ウォーミングアップとして継続して組み込むことで、体の動かし方を意識する児童が増えた。ルーティン化すると、児童も見通しがもて、すすんで活動していた。
- (高)・チームで協力して練習方法を考えたり、技能に応じて作戦を立てたりすることで、意欲を高めることができた。

(2) 課題

- (低)・経験不足から、体力テストに対応できるような多様な動きに乏しい。
 - ・自分の苦手な学習に関しては、あまり意欲的に取り組めていないことがある。
 - ・自分の体を起こしたり支えたりする技能や柔軟性、体のバランスをとる動きに課題が見られる。
- (中)・ゲームのルールを守ることができない児童がいたり、必要以上に勝ち負けにこだわったりしてしまうことがある。
 - ・投擲力に関して、正しいフォームで長い距離を投げる力に課題がある。
- (高)・興味をもって取り組める運動に差が見られ、運動そのものに苦手意識を強くもつ児童がいる。
 - ・投擲力やボールを捕る運動に課題がある。

2 授業改善のポイント（観点別）【◎は重点項目】

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・遊びの要素を取り入れた運動をすることで、楽しく多様な動きができるようにする。 ・授業前・導入にストレッチをし、柔軟性が高められる運動や力試しの運動を十分行えるようにする。	・動きを言語化して体の動き方を意識することで固有感覚を高め、苦手意識をもつ児童も積極的に活動することができるようになる。	◎適宜振り返りをさせ、がんばったところや楽しかったことを確かめさせ、体育への意欲が持続できるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・簡単な体の動かし方を通して、正しい体の使い方を身に付けるようにする。準備体操後に、コーディネーショントレーニングや、単元の基礎的な運動を取り入れるなどする。	・チームスポーツを通して、勝ち負けに拘らずに、目標に向かって活動に取り組めるようにする。	◎積極的に授業に参加するため、お互いのよかったところや、改善点を伝え合うことができるよう、授業の中に話し合いの場面をつくる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・運動のポイントや目標値を明確にして、技能の高まりや記録の伸びを児童が実感できるような学習形態を考えて取り組む。技能テストを行う時間を設け、数値による成果を実感させる。	・グループ内で児童が互いに助言し合い、高め合っているように活動の振り返りを行う。また、チームゲームでは、協力して練習方法を考えたり、技能に応じて作戦を立てたりすることができるワークシートを活用する。	・児童が集団で関わるような学習を選び、学習形態を工夫する。 ◎児童が自分に合った学習課題を見出し、課題解決に向かって何度も取り組めるように、資料や場の工夫を行う。